

ハーモニー

No.
135

令和8年6月15日

白鷹町大字鮎貝3994番地7

TEL 85-2342 / FAX 85-2341

あゆかい 青空軽トラ市

5月10日(日) 白鷹町地域交流商業施設の西側駐車場で「青空軽トラ市」を開催しました。常連客の並ぶなか、様々な野菜や手作りの小物、綺麗な鉢植えやメダカ、トンボのストラップなど、春の山菜、ハンドメイド商品や雑貨、ひょうたん商品等。

当日はその他に子ども達大活躍のあゆまるSHOPのグッズやあゆまる蕎麦、フランクフルト等、時間いっぱいまでお客様の絶えない軽トラ市でした。出店された皆様のご協力に感謝いたします。地区の皆様には、沢山購入いただきありがとうございます。

次回は8月に夏野菜や果物などを出店予定です。ご協力いただける方はハーモニープラザまでご連絡ください。



～募集とお知らせ～

申し込み、問い合わせはハーモニープラザ(鮎貝コミセン)85-2342

EMボカシづくりのご案内

くらし部会と菜の花学級の共催によるEMボカシづくりを今年も開催いたします。

協力：白鷹町美しい郷づくり推進会議

❖日時 6月26日(金)午後1:30～

❖場所 JA選果場(箕和田)

❖講師 加藤仁美さん

❖会費 無料

❖持ち物 コメ袋、ビニール袋 各1枚

コメ袋より
大きいもの

交通の妨げになっている

樹木を伐採します

白鷹町交通安全対策協議会鮎貝支部(原田広雄支部長)では、交通の妨げになっている樹木を伐採し、見通しが良く安心して通れる道路環境を保つ為、毎年視距妨害樹木伐採作業を行っています。

今年も交対協の構成団体の皆さんにご協力いただき実施いたします。

木の枝が伸びすぎて見通しの悪い箇所や標識の見えにくい箇所、車の屋根に掛かってしまう箇所など、お気づきの箇所がありましたら、下記までご連絡をお願いいたします。

◎連絡先：鮎貝区内・・・各町内長さんへ
：高岡区内・・・区長さんへ
：深山区内・・・区長さんへ

◎連絡期日 6月26日(金)

◎作業実施日 7月25日(土)午前9時～

田宮町長の

～移動町長室～ はじめます!

例年の「まちづくり座談会」にかわりまして、「移動町長室」が開催されます。詳しくは「広報しらたか6月号」をご覧ください。

鮎貝地区の開催日は

◇日時 7月15日(水)19:00～20:30

◇場所 ハーモニープラザ ホール

皆様の町に対する期待やご意見
アイデア、お悩みなどぜひとも
お聞かせください。



ふれあい交流スクール

～ふれあいボッチャ教室～

老若男女問わず誰でも一緒に楽しめて大変盛り上がる競技です。ぜひご参加ください。



❖日時 7月16日(木)午前9:00～

❖場所 ハーモニープラザ

❖持ち物 内履き(お持ちの方)・水分

❖申込み 7月1日(水)まで

これからの主な行事予定

6/21(日) 魅力づくり部会 イベント

6/26(金) EMボカシ作り

6/26(金) コミセン研修会(P4に詳細掲載)

少し先の予定

7/4～7/9まで四季の駅七夕飾り

7/15(水) 移動町長室

7/16(木) ふれあいボッチャ教室

7/21(火) 交通安全祈願祭

7/25(土) 視距妨害樹木伐採

7/31～8/1「何かする合宿」

※毎週月・水・金 放課後みちくさ学級

pm.3:00～5:00

※毎週月曜 青パト運行 pm.3:00～4:00

※これからの予定として公式LINEのメニューより確認できます。予定はその都度更新しています。



四季の郷駅で楽しむ会

～七夕飾り～

7/4(土)～7/9(木)まで展示します

四季の郷駅で楽しむ会が今年も七夕飾りを行います。毎年大変好評の色鮮やかな飾りをご覧ください。夜もライトアップで昼間と違った雰囲気をお楽しみください。



鮎つ子通信

「地域と共にある学校」

鮎貝小学校長 海老名 智樹



五月十八日(月) 令和八年度の学校運営協議会が開催されました。学校運営の重点や具体策について、また、鮎貝小の子供たちの様子について協議いただきました。いただいたご意見については、今後の学校運営に活かし、子供たちを真ん中に据えた教育活動が実践できるよう努めていきます。

学校運営協議会委員の皆様(学校長は除く)

- ・江口信利様(区長会長) ・小口裕之様(学校後援会長) ・後藤敬一郎様(自彊会理事長)
- ・加藤嘉郎様(土地改良区理事長) ・佐藤健一様(鮎貝地区コミュニティセンター長)
- ・和田妙子様(学識経験者) ・佐藤真光様(P.T.A会長) ・小口明日香様(保護者代表)
- ・樋口美佳様(保護者代表) ・村上茂一様(地域学校協働推進員・主任児童委員)

今年度もたくさんの方々のボランティアの方々にお手伝いをいただいています。四・五月に来ていただいた方々です。



- 清掃ボランティア(横澤峯子さん・安彦和子さん・長谷部百合子さん・黒沢昭子さん・迎田節子さん)
- 図書ボランティア(江口京子さん・齋藤映美子さん・神居裕子さん)
- 5学年田植え(サンファームの皆様)
- 体力テスト補助ボランティア(横山和浩さん・菊地洋子さん・長谷部洋子さん)

今後、りんごの摘果作業・環境ボランティア等でお世話になります。ボランティアの方々のおかげで、学校の職員は子供たちと向き合う時間の確保ができます。心より感謝申し上げます。



「コメセン」コラム 令和八年六月号

『災害の危険度が数字で分かれます!』

5月29日から、気象庁が発表する防災気象情報が一変しました。

町では、レベル3警報が発表された場合は「高齢者等避難」を、レベル4危険警報が発表された場合は「避難指示」を危険が迫っている地域に対して発令します。わかりやすくなった情報を活用し、「レベル4の情報が発表されたら避難」速やかに判断し、災害から身を守るようにしましょう。

地域防災マネージャー 橋本和彦

	河川氾濫 ※1	大雨 ※2	土砂災害 ※3	高潮	<警戒レベルごとに住民がとるべき行動>
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から 全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める

気象庁ホームページ 『新たな防災気象情報特設サイト』



- ※1: 洪水予報河川(白鷹町では最上川)
- ※2: 低地の浸水や最上川以外の河川の氾濫
- ※3: 急傾斜地のがけ崩れや土石流

～駐在所からのお知らせ～

農作業用自動車の事故に注意!!



トラクターなどの農耕作業用自動車に関係する交通事故は例年農繁期が始まる4月から6月、8月から10月に多く発生しています。

★☆農耕作業用自動車に関係する事故の特徴☆★

(過去5年山形県内で発生した23件の特徴)

- 昼前後の時間帯(11時から14時)、夕方(17時から19時)の発生が多い
- シートベルト非着用が7割以上
- 事故総数の約半数は、後方から追突された事故

- ★ 作業中は運転に集中し、適度に休憩を挟んで作業しましょう
- ★ シートベルトとヘルメットを着用しましょう
- ★ 他車との接触を避けるため作業後は、尾灯や反射材の泥を落としましょう
- ★ 傾斜地ではバランスを崩さないよう斜面に正対(直角)して進行しましょう

白鷹西駐在所
大河原巡查部長
☎85-2029



地域の未来を支える人づくり研修会

開催

～ドローン・ICT活用から学ぶ地域課題解決と地域づくり～

6月26日(金) 18:30 START



会場：鮎貝コミュニティーセンター ホール

◆あなたが考える「鮎貝地区の未来」は？

地域の担い手不足、若者の地域参加、防災、鳥獣被害…。

地域には様々な課題があります。

今回の研修会では、ドローンやICTを活用した地域づくりの実践事例を学びながら、「これからの鮎貝に必要なこと」をみんなで考えます。

地域づくりは、一部の役員だけで進めるものではありません。

地域の未来に少しでも関心がある方なら、どなたでも自由に参加できます!!

あなたも「鮎貝の未来会議」に参加してみませんか？

参加
無料



しゅらぐしえんいん
集落支援員だより



教育の森協働整備作業を実施しました



5月31日、鮎貝松ヶ丘教育の森において協働整備作業を実施しました(鮎貝松ヶ丘教育の森管理会主催)。当日は地域住民の皆さん、PTAの皆さんをはじめ、多くの方々からご協力をいただき、散策路周辺や沼周辺、見晴台周辺などの草刈りや環境整備を行いました。

令和6年度から進めている教育の森の再整備により、子どもたちが安心して活動できる環境づくりが着実に進んでいます。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。 ※「やまがた緑環境税」活用事業



学校林を活用した森林環境教育 促進事業がスタートします

今年度、鮎貝小学校を対象とした「学校林を活用した森林環境教育促進事業(助成事業)」が本格的にスタートします。

教育の森を活用し、学年ごとの発達段階に応じた森林環境教育を実施します。

森の中での自然体験や生き物観察、森づくり活動、森を活用した学習などを通して、子どもたちが地域の自然や環境について学ぶ機会を創出していきます。

地域の宝である「教育の森」を活かした、鮎貝ならではの学びを進めていきます。

開催された授業等は、このお便りの中でも紹介していきます！



子ども体験循環プロジェクト 採択決定！

鮎貝地区まちづくり協議会が申請していた「地域資源を活用した子ども体験循環プロジェクト」が、このたび助成事業として採択されました。

(令和8年度やまがた社会貢献基金協働助成事業)
本事業では、

- ・放課後みちくさ学級
 - ・何にもしない合宿
 - ・サマーキャンプ(何かする合宿)
 - ・あゆまるショップ
 - ・食農体験活動「あゆかい蕎麦プロジェクト」
- などを相互に連携させながら、子どもたちが地域の中で学び、遊び、地域の人と関わりながら成長できる仕組みづくりを進めていきます。



集落支援員は、地域の皆さんの「やってみたい」と「困った」をつなぐ役割です。小さなことでも構いませんので、地域のことを気軽に声をかけてください。